

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)舞鶴オフィスビル**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>			<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>						<b>4.4</b>	0.15			<b>4.4</b>
1.1 室内騒音レベル		45dB以下				<b>4.0</b>	0.40			
1.2 遮音						<b>5.0</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		T-2以上				5.0	0.62			
2 界壁遮音性能		Rr-50以上				5.0	0.38			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-			
1.3 吸音		床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板				<b>4.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>						<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00	
1 室温						3.0	0.38	3.0	1.00	
2 外皮性能						3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.9</b>	0.25			<b>3.9</b>
3.1 昼光利用						<b>3.0</b>	0.31			
1 昼光率						3.0	0.57	-	-	
2 方位別開口		南東に窓あり					-	5.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.43	-	-	
3.2 グレア対策						<b>4.0</b>	0.28			
1 昼光制御		水平庇設置				4.0	1.00			
3.3 照度		貸室標準照度500lx(自動調光制御最大750lx)				<b>4.0</b>	0.14			
3.4 照明制御		自動調光制御あり				<b>5.0</b>	0.26			
<b>4 空気環境</b>						<b>3.9</b>	0.25			<b>3.9</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆材料を全面的に採用				4.0	1.00			
4.2 換気						<b>3.0</b>	0.30			
1 換気量						3.0	0.34			
2 自然換気性能						3.0	0.31			
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.34			
4.3 運用管理						<b>5.0</b>	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視		中央監視設備を防災センターに設置				5.0	0.50			
2 喫煙の制御		廊下への臭い防止のため前室を設置				5.0	0.50			
<b>Q2 サービス性能</b>							<b>0.30</b>			<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.8</b>	0.40	<b>1.0</b>	1.00	<b>3.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.3</b>	0.40			
1 広さ・収納性		1人当たりの執務スペースを10㎡で計画				4.0	0.31	-	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.31	3.0	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.37	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>4.3</b>	0.30	<b>1.0</b>	1.00	
1 広さ感・景観		天井高2900、窓あり				5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース						3.0	0.33	-	-	
3 内装計画		内観パース、照明計画による検討				5.0	0.34	1.0	1.00	
1.3 維持管理						<b>4.0</b>	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計を積極的に行う				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		維持管理に配慮した設計を積極的に行う				4.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.5</b>	0.30			<b>3.5</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>4.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準法の1.25倍確保				4.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		制振デバイスを設置				4.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.2</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:タイルカーペット、内壁:PB下地EP、天井:岩綿吸音板				5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						<b>3.0</b>	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.2</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	
1 階高のゆとり		階高4.3m	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	1.00	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		3500N/㎡以上、4500N/㎡未満(Q1と同室)	<b>4.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		周辺の街並みに調和した良好な景観形成	<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.5</b>	0.30	-	-	<b>3.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		緑地空間の形成、防犯性に配慮した計画	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.76	<b>3.4</b>	0.50	-	-	<b>3.4</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
1.1 節水		福岡市認定節水器具を採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.3</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		中水利用有	<b>4.0</b>	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	<b>3.0</b>
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.5</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		福岡市駐車場附置義務条例に基づき適切な駐車台数を確保	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	